

第3回 地域版SDGs調査 2021

## 地域のSDGsを評価している人ほど、幸福度が高いことが判明

幸福度1位は沖縄県。住民によるSDGsへの取組評価は鳥取県が1位

2021年6月28日  
株式会社ブランド総合研究所

株式会社ブランド総合研究所は、このたび都道府県ごとに住民の幸福度や居留意欲度、悩みや地域の課題、自治体のSDGsへの取り組みの評価などを数値化する調査「第3回地域版SDGs調査2021」を実施しました。

その結果、居住している都道府県のSDGsへの取り組みを評価している人ほど、「幸せ」を感じる割合が高いことがわかりました。また、これらの人たちは定住意欲度も高くなっています。全国で広がるSDGsへの取り組みですが、その内容が住民に理解され、評価されることが住民の「幸福度(幸せと感じる強さ)」を高め、地域の持続性を高めることにつながるようです。

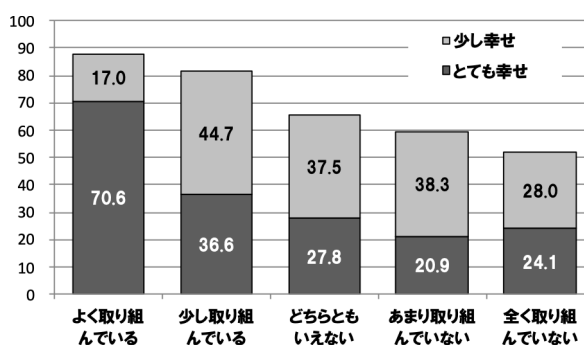
「地域版SDGs調査2021」は、住民視点での地域の持続性に関する課題を明らかにし、将来に向けて持続性を高めるために必要な施策や目標値設定に活用できる調査として設計したもので、今回が3回目。SDGsの認知度のほか、居住する都道府県のSDGsの取り組みについての評価、社会や環境の持続性につながる行動、幸福度などの持続性と、それらの阻害要因である悩みや地域の課題など、全142項目の指標を徹底的に調査・数値化しました。なお、調査は5月にインターネットで実施し、都道府県の住民約350人ずつ計約16,300人から有効回答を得ました。

### <調査結果の概要>

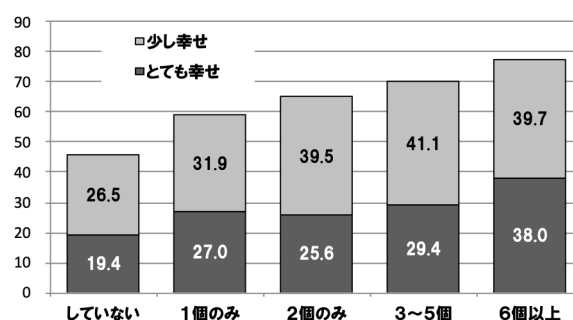
住民に対し「△県はSDGs達成のために積極的に取り組んでいると思いますか(△は回答者が居住する都道府県名)との設問で、「よく取り組んでいる」と答えた人のうち70%以上が「とても幸せ」と答えた。これは「少し取り組んでいる」と答えた人の36.6%の約2倍。「取り組んでいない」と答えた人の約3倍というより、はるかに多い結果になった。

また、環境や社会の持続につながる「地産地消」「節電・省エネ」「寄付・募金」など社会や環境の持続につながる20の行動の中で、取り組んでいるものを選んでもらったところ、6つ以上選んだ人の38%が「とても幸せ」と回答したのに対し、「していない」を選んだ人は19%しか「とても幸せ」と答えていなかった。SDGsに関連する環境や社会の持続性につながるような行動を多くとっている人の方が、幸福度を感じると言えそう(右下図)。

◆SDGsの取組を評価する人ほど「幸せ」を感じる



◆持続的な行動を取る人ほど「幸せ」を感じる



### ◆SDGs 評価、1位鳥取県、2位石川県

「(あなたの居住する)都道府県は SDGs 達成のために積極的に取り組んでいると思いますか」という設問に対し、5 段階で回答してもらった結果をもとに点数を算出した(右上図)。

その結果、「SDGs指数」が最も高かったのは鳥取県となった。「よく取り組んでいる」が4.8%、「少し取り組んでいる」が26.5%と、およそ3割以上の方が同県の取り組みを評価している。

2位の石川県は「よく取り組んでいる」が5.4%と鳥取県より多かったが、「少し取り組んでいる」が22.3%で、評価指数はわずかに下回った。

なお、47都道府県の平均では「よく取り組んでいる」の回答は3.1%、「少し取り組んでいる」は16.7%で合計では19.8%となる。一方で「全く取り組んでいない」14.4%と「あまり取り組んでいない」14.1%の合計では28.5%。SDGsへの取り組みについて否定的な意見の方が多いことから、地域の取り組みの理解は十分に進んでいないと言えるだろう。

### ◆住民の持続度につながる行動も鳥取県が1位

環境や社会の持続につながる行動について「あなたが普段の生活の中で、意識して取り組んでいるものがあればいくつかもお選びください」との問いに対し、「地産地消」「節電・省エネ」「寄付・募金」など、消費、環境、社会のそれぞれの分野における行動(計20項目)の中から、実際に行動しているものを選んでもらった(複数回答)。

すると、20の行動の平均が最も高かった、すなわち社会や環境などの持続につながる行動をとる人が最も多いのは鳥取県となった。同県は前出のSDGs評価とあわせて2冠を獲得。SDGs活動が最も進んでいる県といえるだろう。

なお、消費に関する項目で持続的な行動をとっている人が最も多いのは宮崎県、環境に関する行動では山梨県、社会に関する行動では島根県が最も高かった。ちなみに、鳥取県はこの3つの分野いずれも2位となっている。

具体的な行動の中で実行している人が最も多かったのは「エコバッグ」で55.0%、続いて「ゴミの分別」で52.9%、「節電・省エネ」が45.0%など環境行動が上位を占めた。

### ◆SDGs 評価が高い都道府県

順位	都道府県名	SDGs評価	順位	都道府県名	SDGs評価
1	鳥取県	51.9	24	茨城県	45.3
2	石川県	50.5	26	愛知県	45.0
3	千葉県	48.1	27	新潟県	44.9
4	広島県	47.9	28	群馬県	44.8
5	三重県	47.8	29	兵庫県	44.7
5	福島県	47.8	29	栃木県	44.7
7	北海道	47.7	31	山形県	44.5
7	熊本県	47.7	32	富山県	44.2
9	神奈川県	47.4	33	大分県	44.1
10	京都府	47.1	34	岩手県	43.9
11	宮崎県	46.8	35	香川県	43.4
11	東京都	46.8	36	岐阜県	43.2
13	大阪府	46.7	37	宮城県	43.0
14	山梨県	46.5	38	山口県	42.9
14	福井県	46.5	39	高知県	42.8
14	島根県	46.5	40	和歌山県	42.2
17	埼玉県	46.1	41	佐賀県	42.0
17	長野県	46.1	41	鹿児島県	42.0
19	滋賀県	45.9	43	青森県	40.1
20	愛媛県	45.7	44	秋田県	39.7
20	岡山県	45.7	45	奈良県	39.4
22	福岡県	45.5	45	長崎県	39.4
23	沖縄県	45.4	47	徳島県	38.5
24	静岡県	45.3	平均		45.0

### ◆持続的な行動をとる人が多い都道府県

順位	都道府県名	行動別分析			20行動平均
		消費	環境	社会	
1	鳥取県	14.0	39.1	7.6	20.9
2	宮崎県	15.6	37.2	6.7	20.5
3	茨城県	13.3	37.9	6.9	20.0
4	島根県	12.4	37.2	8.1	19.8
5	山梨県	11.6	39.2	5.7	19.5
6	宮城県	12.5	38.3	5.4	19.4
6	岡山県	12.0	38.5	5.6	19.4
8	大分県	12.3	37.7	5.9	19.3
9	福島県	12.6	37.5	5.2	19.1
9	神奈川県	11.4	38.9	4.8	19.1
11	沖縄県	13.4	36.7	4.8	19.0
11	長野県	11.9	37.4	5.7	19.0
13	熊本県	12.9	36.1	5.8	18.9
14	山形県	12.0	35.5	6.9	18.7
14	京都府	12.2	35.5	6.6	18.7
14	群馬県	12.6	36.5	4.9	18.7
17	北海道	12.1	36.2	5.5	18.6
18	三重県	10.6	38.4	4.5	18.5
19	岩手県	11.3	34.8	7.6	18.4
19	愛媛県	13.9	33.6	6.0	18.4
47	都道府県平均	11.6	35.2	5.5	18.0

### ◆幸福度 1 位は沖縄県。宮崎県は 2 位に

「あなたは幸せですか」という設問に対し、各都道府県の住民に 5 段階で回答してもらった結果を集計したところ、最も幸福度が高いのは沖縄県となった。同県は、「とても幸せ」が 42.2%、「少し幸せ」が 37.4%など住民のおよそ 8 割が幸福を感じていると答えた。その一方で、「全く幸せではない」はわずかに 1.6%、「あまり幸せではない」も 6.4%と、ネガティブな意見がとても少ない。幸福度は前年の 72.2 点より大幅に上昇した。

前年まで 2 年連続で 1 位だった宮崎県は 73.0 点で 2 位となった。1 位の座は譲ってしまったが、幸福度が高い県であることに変わりはない。3 位には熊本県が 72.4 点で、前年の 9 位から大きく順位を上げた。4 位の山梨県、5 位の愛媛県ともに大きく順位を上げている。

上位には九州など西日本の府県が多く、東京が 45 位、神奈川県が 46 位など、関東や東北など東日本は総じて順位が低くなっている。

なお、全回答者の 29.1%が「とても幸せ」、36.8%が「少し幸せ」と回答しており、合計では、およそ 3 人に 2 人が「幸せ」と答えている。

### ◆持続度 1 位は沖縄県。北海道 2 位、福岡 3 位

地域の持続性に関する 4 つの指標(幸福度、生活満足度、愛着度、定住意欲度)の平均値を「持続度」として算出した(右下の表)。

持続度 1 位は沖縄県で 2 年連続。愛着度 2 位、定住意欲度 3 位といずれも評価が高い。

2 位は北海道、3 位は福岡県と前年と同じ顔触れとなった。いずれも生活満足度、愛着度、定住意欲度ともに 3 位以内となっている。

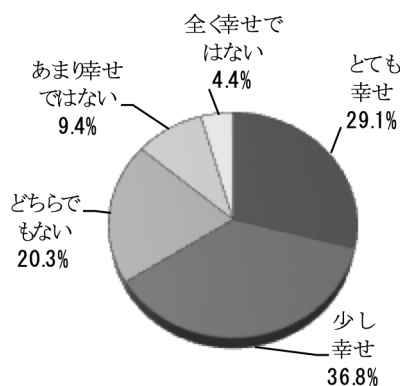
4 位の熊本県は前年の 7 位から大きく順位を上げた。5 位の石川県は前年より順位は 1 つ下げたが、点数は前年より上昇している。

なお、長野県、広島県、愛媛県の 3 県は前年よりも大きく順位を伸ばしているが、長野県は幸福度と生活満足度、広島県は生活満足度と愛着度、定住意欲度、愛媛県は全ての項目で前年より大きく上昇している。

### ◆都道府県の幸福度ランキング

順位	前年	都道府県名	幸福度	順位	前年	都道府県名	幸福度
1	2	沖縄県	78.1	24	16	兵庫県	69.1
2	1	宮崎県	73.0	24	37	愛知県	69.1
3	9	熊本県	72.4	27	19	和歌山県	69.0
4	12	山梨県	72.1	28	22	広島県	68.8
5	22	愛媛県	71.8	28	46	佐賀県	68.8
6	38	岡山県	71.7	30	42	千葉県	68.5
6	28	長崎県	71.7	31	33	静岡県	68.4
8	30	北海道	71.4	32	38	宮城県	68.0
9	7	京都府	71.3	32	30	徳島県	68.0
9	3	大分県	71.3	34	26	群馬県	67.7
11	36	三重県	71.2	34	40	山形県	67.7
12	13	福岡県	71.1	34	35	大阪府	67.7
13	21	奈良県	70.9	37	8	富山県	67.1
14	20	長野県	70.7	38	43	新潟県	66.9
15	10	鹿児島県	70.2	39	30	茨城県	66.6
15	5	石川県	70.2	40	47	秋田県	66.5
15	13	高知県	70.2	41	29	埼玉県	66.2
18	10	香川県	70.0	41	24	岩手県	66.2
18	4	福井県	70.0	43	44	青森県	66.1
20	6	鳥取県	69.7	44	45	福島県	65.6
21	26	栃木県	69.5	45	25	東京都	65.0
22	15	滋賀県	69.3	46	33	神奈川県	64.6
23	18	島根県	69.2	46	41	山口県	64.6
24	16	岐阜県	69.1			平均	69.2

Q あなたは幸せですか？(全回答者)



### ◆持続度の高い都道府県

順位	前年	都道府県	幸福度	生活満足度	愛着度	定住意欲度	持続度
1	1	沖縄県	78.1	66.8	86.0	84.2	78.8
2	2	北海道	71.4	68.5	86.7	85.2	78.0
3	3	福岡県	71.1	68.4	86.0	84.6	77.5
4	7	熊本県	72.4	67.6	84.0	80.6	76.2
5	4	石川県	70.2	68.8	79.7	78.1	74.2
6	13	長野県	70.7	67.2	80.9	77.6	74.1
6	18	広島県	68.8	67.0	80.6	80.0	74.1
8	34	愛媛県	71.8	66.6	80.0	77.0	73.8
9	5	宮崎県	73.0	64.9	80.0	76.0	73.5
10	6	京都府	71.3	66.6	78.5	77.0	73.3
10	16	静岡県	68.4	65.9	80.1	78.7	73.3

## <調査概要>

第3回地域版SDGs調査2021は、全国の男女約450万人の調査モニターの中から15歳以上を対象に、2020年5月1日から5日にかけてインターネットで調査を実施し、各都道府県の住民をそれぞれ350人ずつ回収し、調査時点で移転などの理由によりその地域に居住していない人を除く計16,300人の有効回答を得た。調査対象は47都道府県。SDGsと地域の持続性に関するそれぞれの評価指標を設け、個人と地域の視点でそれぞれ評価項目を設定した。

- ・ 調査方法 インターネット調査
- ・ 調査対象 47都道府県の登録調査モニター(15歳以上)から、居住する都道府県別に抽出
- ・ 総回収数 計16,450人(各都道府県から350人ずつを回収)
- ・ 有効回答数 16,300人(各都道府県の回答者数は343~350人)
- ・ 調査時期 2021年5月1日~5月5日
- ・ 調査項目  
持続性指標: 幸福度、生活満足度、愛着度、定住意欲度など4項目  
SDGs指標: 認知度、都道府県別SDGs評価、個人の行動など42項目  
住民の悩み: 「低収入・低賃金」「貯蓄・ローン」など46項目  
社会の課題: 「農林水産業の衰退」「食の安全・安心」など50項目  
回答者属性: 年齢、性別、婚姻、子供の有無、世帯年収、居住形態など

## <調査報告書>

### ・報告書冊子(価格は税込)

基本セット: 98,000円 総合報告書+個別報告書

総合報告書: 68,000円 A4判 約170ページ

個別報告書: 48,000円 A4判 約20ページ

オプション:データCD: 20,000円(お申し込みいただいた報告書のデータを収録、Excel、PDF)

### ・電子データ(価格は税込)

データパック47(CD): 200,000円 47都道府県すべてのデータを収録(報告書は別途)

市・広域都市圏報告書: 148,000円 ご指定の市(中核市以上)または指定のエリアのデータ

### ・報告会・セミナー(価格は税込、交通費別途)

調査結果を基にセミナーまたは研修会を実施(報告書は別途): 110,000円

## <ブランド総合研究所の会社概要>

「都道府県・魅力度ランキング」など地域・自治体の評価指標として全国で利用されている「地域ブランド調査」を毎年実施する地域とコンサルティングの専門企業です。同調査以外にも、地域ブランドに関する調査やシティプロモーションなどの戦略立案を実施しています。また、英国ギネスワールドレコーズの公式パートナーとして各地でギネス世界記録への挑戦サポートも行っています。代表取締役社長の田中章雄は地域ブランドの提唱者として全国で地域ブランドに関する講演を行っているほか、地域ブランドアドバイザーとして全国各地の地域の活性化に取り組んでいます。

- ・ 本社 東京都港区虎ノ門1-8-5(〒105-0001)
- ・ 代表者 代表取締役 田中章雄
- ・ 資本金 2500万円
- ・ 設立 2005年11月

### <問合せ先(メディアおよび読者とも)>

**株式会社ブランド総合研究所** (担当 菅波)

Tel. 03-3539-3011(代) Fax.03-3539-3013

E-mail: [sdgs@tiiki.jp](mailto:sdgs@tiiki.jp)